



2024年
7月3日
No.A24-03

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2024年6月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・6月28日(金)、小野 啓一 外務審議官(経済担当)「イタリア G7 サミットと日本の経済外交」(於：オークラ東京)



<要旨>

6月13～15日にイタリアで行われたG7サミットでの議論と成果につき、主要各国の関心や共通認識、また日本の果たしうる役割等について説明がなされた。

(2) 中東情勢オンライン講演会

・6月7日(金)、鈴木 啓之 東京大学大学院総合文化研究科スルタン・カブース・グローバル中東研究寄付講座特任准教授「ガザ情勢が示唆する中東和平の行方：イスラエルの対ガザ政策の変遷・1956～2024年」(Zoom形式)

<要旨>

講師より、ガザの歴史やガザ停戦案をめぐる動向、ガザの「戦後」の見通しについて説明が

なされた。質疑では、イスラエル軍の動向や、ガザ住民退避に関するエジプトの対応、ガザ情勢が西岸地区に及ぼす影響等に関して、多数の質問が出た。



・6月20日(木)、大菅 岳史 駐チュニジア特命全権大使「『アラブの春』は、その後どうなったのか?：チュニジアにおける回顧と展望」(Zoom形式)



<要旨>

講師より、「アラブの春」以降のチュニジアに

おける新憲法制定、選挙法改正、選挙実施等を経た政治改革、また日本やEUとの関係等、最新の外政動向について説明がなされた。以上を受けて、現下の難民をめぐる状況や今後の政治体制、また中国のプレゼンス増大等につき質問がなされた。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- 2024年6月号(2024年7月3日付)
- 1. イラン：第14期大統領選挙の第1回投票結果が発表
- 2. イスラエル：戦争閣議の解散・挙国一致体制の終了
- 3. トルコ：フィダン外相が就任後初の中国、新疆ウイグル自治区を公式訪問
- 4. シリア：シリア政府によるハッジの巡礼団派遣
- 5. イスラエル・エジプト：エジプトへのガス輸出の増加に向け、ガス田の拡張
- 6. アフガニスタン：ターリバーンのハッカーニー内相代行がUAEを訪問
- 7. サウジアラビア：ハッジで巡礼者1301人が死亡

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東かわら版の発行

- No.29「イラン：6月28日実施予定の大統領選挙に向けた立候補者登録受付が終了」(研究主幹 青木健太、6月4日)
- No.30「UAE：ムハンマド大統領の韓国・中国訪問、UAE・韓国間の自由貿易協定の締結」(主任研究員 高橋雅英、6月4日)
- No.31「レバノン：アメリカ大使館への銃撃事件が発生」(協力研究員 高岡豊、6月7日)
- No.32「イラン：第14期大統領選挙の最終候

補者6名が発表」(研究主幹 青木健太、6月10日)

- No.33「イスラエル：ガantz無任所相の戦時内閣離脱とその影響」(研究主幹 高尾賢一郎、6月10日)
- No.34「UAE：ルワイス LNG プロジェクトの最終投資決定」(主任研究員 高橋雅英、6月14日)
- No.35「サウジアラビア：米国 LNG 事業への投資に向けた動き」(主任研究員 高橋雅英、6月14日)
- No.36「イラン：第14期大統領選挙実施前の国内情勢」(研究主幹 青木健太、6月24日)
- No.37「バハレーン：イランとの国交回復協議に合意」(研究主幹 高尾賢一郎、6月26日)
(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- No.5「イスラーム過激派にとってのイラン：ライシー大統領墜落死を受けて」(6月5日)
- No.6「アンサール・アッラーが「イラク・イスラーム抵抗」と合同作戦を実施」(6月7日)
- No.7「月刊イスラーム過激派の動向：2024年5月」(6月11日)

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(4) その他の活動

- 東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとくA/中東を理解するキーワード」へ当会研究員が出講した。
- ①「西洋との関係」(研究主幹 青木健太、6月5日)
- ②「少数派」(主任研究員 金子真夕、6月12日)
- ③「ジェンダー」(研究主幹 高尾賢一郎、6月19日)

④「エネルギー」（主任研究員 高橋雅英、6月26日）

- ・19日（水）、ドイツのCandid Foundationのゲルラッハ事務局長ら一行が来訪し、当調査会の研究員らとシリア情勢等について意見交換を行った。



- ・25日（火）、イスラエルのSignal Groupのウイッテ代表ら一行が来訪し、当調査会の理事長、副理事長、研究員らと中東情勢について意見交換を行った。



※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

3.7月の予定

- ・7月12日（金）、14:00～15:30、中東情勢オンライン講演会（松永 泰行 東京外国語大学大学院教授「イラン・イスラーム共和国体制の今後—第14期大統領選挙結果を受けて」）
- ・7月19日（金）、8:30～10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング（山崎 達雄 元財務官「内外経済情勢」） ***法人会員限定**

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。